

施策 6 「子ども、大学生など若い世代の市政への参加の推進」に関する調査

施策 6 子ども、大学生など若い世代の市政への参加の推進

若い世代の市民参加を一層推進するためには、子どものころから一人の市民として尊重され、社会活動への関わりなど、市民としての意識が醸成されることが重要です。

このため、多様な主体と連携し、学び・育みの機会の充実に取り組むとともに、子どもも含めた若い世代がより市政に参加しやすくなる工夫を行います。また、「大学のまち・学生のまち京都」の特性をいかすため、大学と連携し大学生の市政への参加を一層促進します。

< 全体概要 >

調査の種類		対象者（周知先）	目的	備考
アンケート	これまでの市政参加に関する経験を聞く (統計調査)	青少年（13～30歳） ＜アンケート実施期間＞ 平成30年9月中旬 ～10月中	市政参加制度の知名度や、市政参加したことがある若者の割合を把握する。	大学生は、おそらく、市政参加したことのある方は非常に少ないと思われるため、回答が大学生に偏らないように、周知方法を工夫する必要がある。
ワークショップ（グループヒアリング）、個人ヒアリング	市政や市政参加に関する意識を聞く (意識調査)	①市政参加経験のある若者 ②市政参加経験のない若者 ③若者支援関係者	各対象者に直接話を聴くことで、若者の市政や市政参加に関して意識を具体的により深く把握する。	市政参加経験のある若者の把握方法が限定されている。